市制施行ここに輝く20周年!!

英知と勇断もって

初代新津市長　布沢皆七

新津市が市制を施行して二十周年を迎えるのでそれにちなんで何か書けと依頼を受けたが、八十六才の老令の身では文字もすらすらとは書けない。

また、私は昔からあまりものを書くことは上手ではない。しかも加えて最近九年間は、世間と隔絶された生活だけに交感神経も不活発で、友人、知人の氏名さえ忘れることもしばしばである。物の名称や若い男女の話しなども、すぐさま理解することもきわめてむずかしい。

市政も本年で二十年を迎えるというが昔なら人間に例えれば一人前、いわゆる兵隊検査を迎える歳である。当時を思い出して感無量である。

市制を施行した当時の議会関係のかた、職員のかたは何人おられるだろうか。思い出そうとしてもなかなか思い出せない。それでも四・五人のかたはすぐ思い出すことができたが、思いは今昔の感ひとしおである。

市制を施行した時は、新潟・金津、小合はまだ合併はしていなかった。私が二十四年町長に就任しての初仕事は、六・三・三制の整備、石川島重工場の払い下げ、あとしまつ、国民健康保険存廃問題、既設上水道の改善整備、漁願寺浄水場の位置決定、秋葉山周辺の中心とした都市計画、市制施行の諸事務などであった。いずれも緒についたものもなかにある。

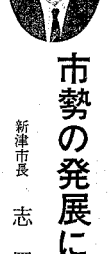
世界情勢は大きく転換している。国民経済もそのとおりである。

地方行政も政治も、昔のかたちでは通用しなくなった。ますます増大する行政需用にどう対処するか、きわめて困難な情勢の中にあって、幸いわが市は、私を除く歴代の市長、また、現志田市長、地方行政に精通する人々、地方行政に精通する人をいただいているだけに、市民として最もしあわせなところである。

ますます多様化する地方行政ではあるが、英知と勇断をもって時代に即応した行政をすすめられるよう一言申し上げお祝いのことばとします。

市勢の発展に努力

新津市長　志田　保



わが新津市が昭和二十六年一月一日に県下七番目の都市として市制を施行してから、ここに満二十年の歳月を迎え、いよいよ発展の道をたどっていることは市民の皆さんとともによろこびにたえません。

この二十年間に新津市は、面積において三十九・五平方キロから七十八平方キロの約二倍、人口においても三万七千三百七十人から五万七千八十九人の約一・六倍に膨張し、市の財政規模は二十六年度決算で一般会計、特別会計あわせて一億八千三百万円であったものが、四十五年度現計予算で二十五億五千六百万円と実に十四倍に増えている現状であります。これによっても市政の向上、発展のあゆみをうかがい知ることができるのであります。

もちろんこれには三十年四月一日に金津村、小合村を三十二年三月十八日には新潟村の大半を合併した必然的な原因や経済情勢の進展等のこともありますが、いずれにしても未曾有の市民の協力を結集した結果にほかならないものであります。

私は、新津市がこの限進途上にあるとき、昨年三月市長選のみなさんの暖かいご支援によりまして市政を託されることになりましたが、市民の皆さんに約束しました明るい住みよい新津市建設のために、市民の市政参加による市民との対話、職場との対話をできるだけ広く行なう考えであります。

新津市の都市づくりはすべての市民が参加し、すべての市民に楽しく進いたすことが、その前途に横たわる諸問題の解決のためいっそうの支援とご協力をお願い申しあげます。

市政施行当時と現在の財政規模の比較

昭和26年市政施行当時と現在の市の財政規模（一般会計）の比較は次のとおりです。

位置および地勢

市役所の所在地			
◆位置	東経		139°07′32″
	北緯		37°47′46″
◆面積その他	面積		78.0km²
	海抜	最高	109.08m
		最低	1.30m
◆広ぼう	周囲		53.8km
	東西		11.4km
	南北		12.1km

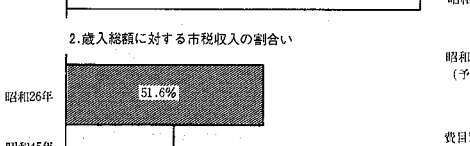
市域の変遷

新津町	昭26.1.1	市制施行（面積）	39.64km²
金津村	〃30.4.1	合併 〃	17.60 〃
小合村	〃30.4.1	〃 〃	13.30 〃
新関村	〃32.3.18	〃 〃	8.46 〃
新関村の一部	〃33.4.1	境界変更 〃	(−)1.0 〃

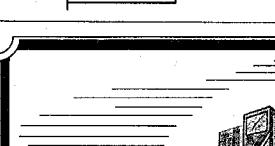
国勢調査による人口の推移

年次	世帯数	人口	増加率(%)	人口密度(一平方キロ当たり)
大正9年	2.811	15.677	100.0	1,081
〃 14年	3.726	19.151	22.2	783
昭和5年	3.769	20.576	7.4	845
〃 10年	3.933	21.822	6.1	896
〃 15年	5.075	29.194	33.8	749
〃 20年	6.552	35.178	20.5	903
〃 22年	6.633	36.053	2.5	925
〃 25年	6.889	37.370	3.7	959
〃 30年	9.808	55.599	48.8	712
〃 35年	10.860	56.110	0.9	719
〃 40年	11.921	56.594	0.8	726
〃 45年	13.059	57.089	0.9	732

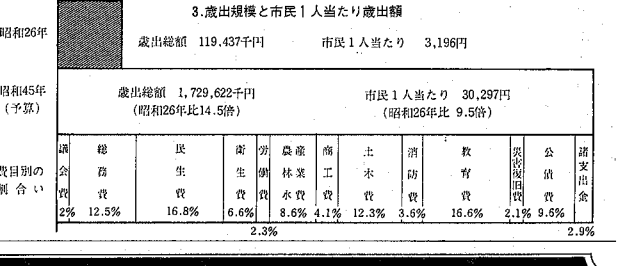
1.市税収入と市民1人当たり負担額



2.歳入総額に対する市税収入の割合い



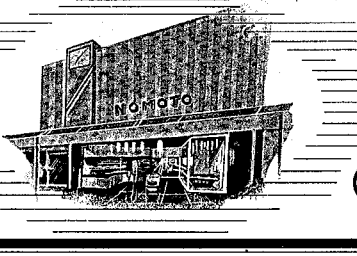
3.歳出規模と市民1人当たり歳出額



費目別の割合い

議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農業林水産費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金
2%	12.5%	16.8%	6.6%	2.3%	8.6%	4.1%	12.3%	3.6%	16.6%	2.1%	9.6%	2.9%

今年もどうぞよろしくお願いします



時計・宝石・メガネ・ライター・優勝カップ・記念品
野本時計店
新津市本町3丁目　TEL (2)0070